

学級活動指導略案

指導者名 T1 ○○ ○○

T2 ○○ ○○

- 1 対象 ひばり学級第1学年 5名
- 2 日時 令和6年6月26日(水) 第5校時 (13:40~14:25)
- 3 場所 ひばり学級2組教室
- 4 単元名 歯と口の健康づくり「じょうぶな歯をつくろう」
- 5 単元の目標

- (1) 正しい歯ブラシの持ち方や歯の磨き方を知り、歯を磨くことができる。
- (2) よく噛んで食べるよさを知り、しっかり噛んで食べることができる。

6 指導計画(全2時間)

【単元のゴール】

じょうぶな歯をつくるために、歯磨きと咀嚼の大切さを知り、実践することができる。

第1時 正しい歯ブラシの持ち方や歯の磨き方を知る。

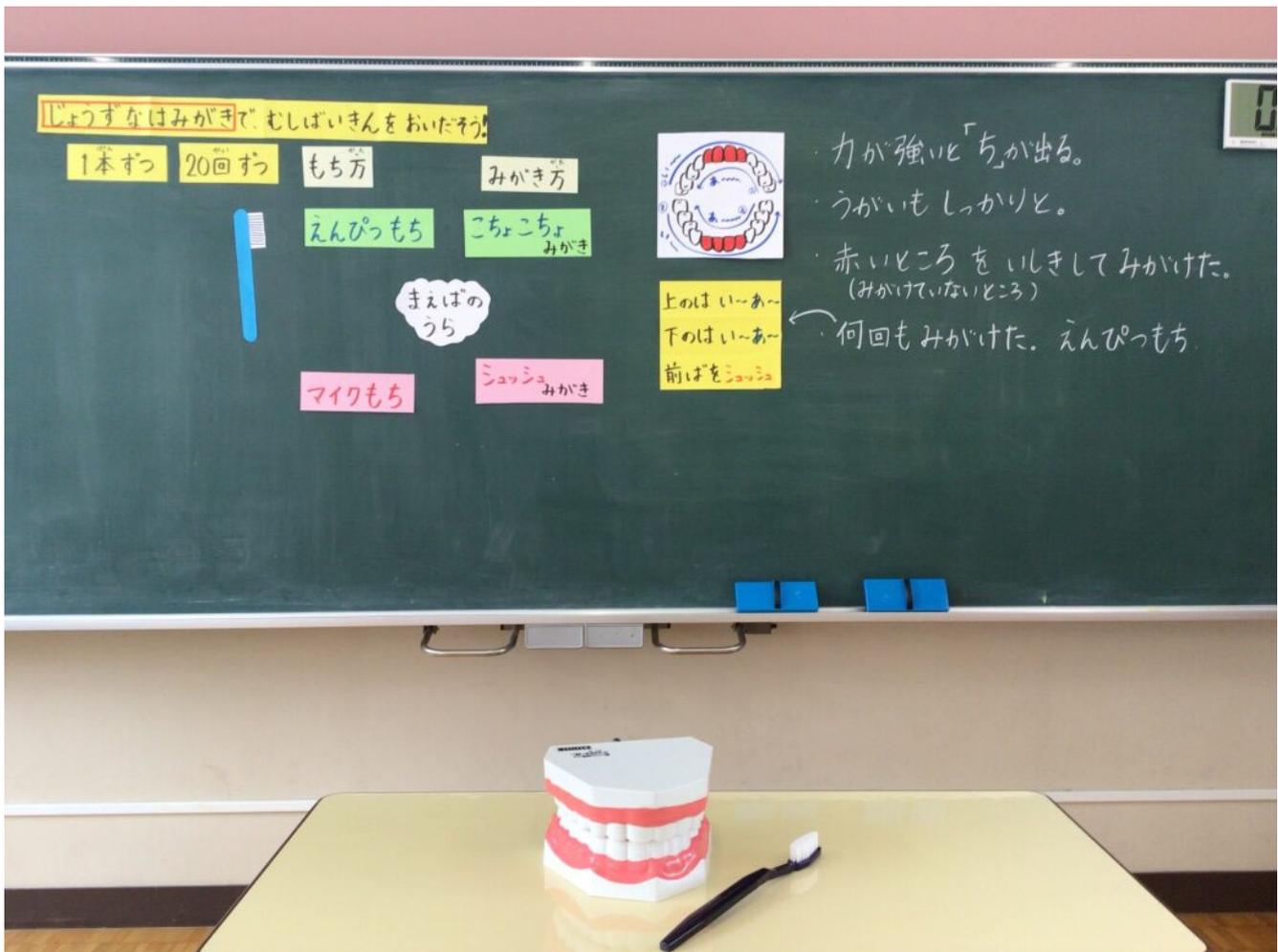
第2時 よく噛んで食べるよさを知る。

7 本時の目標 正しい歯ブラシの持ち方や歯の磨き方を知り、歯を磨くことができる。

8 本時の展開(1/2)

過程	学習活動	学習形態	指導上の留意点	評価規準 【評価の観点】 (評価の方法)
導入 15分	○なぜ歯磨きをするのかを考える。 ○カラーテスターを使って歯磨きチェックをする。	一斉	○「くろわんしろわんはみがきシュッシュ」を読み、歯磨きへの関心を高めさせる。 ○鏡で赤色(汚れあり)の歯を確認させる。	◇正しい歯ブラシの持ち方や歯の磨き方を知り、前歯を磨いている。 【知識・技能】 (行動観察)
じょうずな歯みがきで、「むしばいきん」をおいだそう。				
展開 25分	○「じょうずな歯みがき」とは何かを確認する。 ○正しい歯ブラシの持ち方と歯の磨き方が分かる。 ○歯を磨く。 ○歯がきれいになったことを確かめる。	一斉 一斉 一斉 一斉	○模型を用いて、歯ブラシの持ち方(えんぴつもち)と歯の磨き方(こちょこちょみがき)を確認する。 ○前歯の後ろを磨くときは持ち方(マイクもち)と歯の磨き方(シュッシュみがき)に変わることを確認する。 ○鏡を見ながら、汚れを落とすことを意識させて磨かせる。 ○舌で前歯を触り、つるつるする感覚をつかませてから、口をゆすがせる。	十分に満足できると判断される状況 ○正しく歯ブラシを持ち、歯の場所に応じて、こちょこちょ磨きとシュッシュ磨きを使い分けている。 努力を要する状況への手立て ○正しい持ち方や動かし方ができるように個別支援を行う。
まとめ 5分	○学習の振り返りをする。	一斉	○歯磨きの大切さを振り返らせる。	

9 板書



〈準備物〉

児童

歯ブラシ、コップ、カラーテスター、つばはき出し用の紙コップ、前かけ用タオル、洗濯ばさみ、鏡

教師

歯の模型、歯ブラシ模型、紙芝居